感染症情報 7月3日~9日

府下小児科194医療機関(堺市19)から

①ヘルパンギーナ 1,166例(堺市 128例)

②感染性胃腸炎 634例(堺市 37例)

③溶連菌感染症 424例(堺市 59例)

④RSウイルス感染症 356例(堺市 53例)

⑤咽頭結膜熱 161例(堺市 14例)

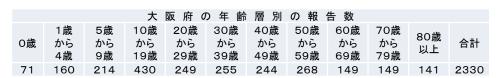
・ 府下296医療機関(堺市29)から インフルエンザ

223例(堺市 20例)

前週比10.6%減の2,936件の報告数であった。ヘルパンギーナは府下で16%減、堺市で133例→128例であった。定点当たりは府下が7.12→6.01で、堺市は7.00→6.74。感染性胃腸炎が府下で前週比12%減、堺市で前週44例→今回37例であった。溶連菌感染症が府下が8%減、堺市で前週54例→今回59例。RSウイルス感染症が府下で3%増、堺市で30例→53例であった。定点当たり大阪府が1.78→1.84、堺市が1.58→2.79。咽頭結膜熱が府下で1%減、堺市で前回21例→今回14例であった。インフルエンザが府下で前週172例→223例で30%増、堺市で前週10例→今回20例であった。定点当たり大阪府は0.58→0.75、堺市で0.34→0.69であった。

府下296医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 2,330例(堺市 263例) 大阪府定点 7.87 堺市定点 9.07



新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週 1,754例→今回2,330例で33%増、定点当たり5.93→7.87 に、堺市は前週211例→今回263例で25%増、定点当たり7.28 →9.07であった。大阪府下で堺市ブロックが定点当たり4週連続 ワーストは免れたが、第3位ではある。

麻疹や風疹の報告はなかった。